

○事業所名	放課後等デイサービス 西ぼっぴご〜んクラブ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		令和7年1月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		令和7年3月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い空間を活かし、一人ひとりが伸び伸びと過ごせること。また、活動に運動タイム(あそび)を取り入れていること。	<ul style="list-style-type: none"> 十分なスペースがあるので、利用者同士の距離感を保ちやすい。 音の過敏等でスペースが必要な場合に確保しやすい。 粗大運動をメインにした活動を計画しやすく、体を存分に動かすことで発散活動ができる。発散できたり気分転換できることで心の安定にも繋がっているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全や目が行き届かないことがないよう職員の配置を考慮する。 完全な個別の空間がないため、必要時には環境設定を工夫する。
2	集団活動と個別活動と一人ひとりに合わせて支援を行っていること。	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や行事等、利用者が楽しみをもって参加できるように職員で話し合い、計画している。 個別活動では、成長段階や将来を見据えた課題を提案している。 集団活動と個別活動とバランスよく提供できるように支援計画を作成するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動や課題は職員で話し合い、様々な視点からアプローチできるように支援計画を作成する。 成功体験を積み重ねていけるよう支援内容を定期的に見直し、利用者の豊かな生活を目指す。
3	学校内をお借りしてサービスを提供しているので、設備が整っていること。また、先生とのやり取りがしやすいこと。	<ul style="list-style-type: none"> 広い多目的トイレやスロープ等バリアフリー化がされている。一人ひとりに配慮しやすい。 学級担任やコーディネーターの先生と情報交換・共有しやすく利用者の現状に合わせて対応を考えられること。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な環境作りに努める。 一人ひとりが伸び伸びと過ごせるよう特性に合わせて配慮できるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場や保護者会を開催できなかったこと。	<ul style="list-style-type: none"> 以前は法人で親子ムーブメントのイベントを行っていたが、感染症の流行により開催が遠のいていた。 当事業所内での保護者会も開催することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子で参加できるイベントを計画し、開催を予定している。 継続してイベントの開催や交流の場を設けていきたい。
2	各マニュアルの周知不足を感じた。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的なおたよりの一部に、マニュアルの情報や避難訓練の実施等を記載したことで、周知しきれなかったのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練計画、避難訓練の実施、各マニュアルの周知など非常災害対策用のおたよりを発行する。
3	地域交流の場が少ないこと。	<ul style="list-style-type: none"> 交流できる機会や場を設けることが難しい。 移動手段が限られ、行ける範囲が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 近くの公園に行った時や散歩の時など、地域の子どもたちに挨拶をしたり、関わってみたりする。 近くの商店街等に行き、地域の方と関わる機会を増やしていく。